

2018（平成30）年度

法人本部事業報告

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

社会福祉法人 歓びの園

◎理事会の開催状況

本年度は、3回の理事会を開催しました。開催状況は以下の通りです。

	開催日	出席者	
		理事	監事
法人監査	5月24日(木)	—	2名
第1回理事会	6月11日(月)	6名/6名	2名/2名
第2回理事会	1月18日(金)	6名/6名	2名/2名
第3回理事会	3月15日(金)	5名/6名	2名/2名

<理事会議題>

◇ 第1回理事会

審議事項

第1号議案 2017(平成29)年度法人本部拠点区分及びみゆき広場サービス区分及び指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分事業報告並びに一般会計収支決算(案)の承認について

第2号議案 定時評議員会招集日の承認について

第3号議案 就業規則の改定(案)について

報告事項

①みゆき広場運営規程の変更について

◇ 第2回理事会

審議事項

第1号議案 2018(平成30)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分一般会計第1次収支補正予算(案)について

第2号議案 経理規程の改定(案)について

第3号議案 評議員会の日時及び場所、議題等について

報告事項

① みゆき広場(生活介護事業)運営規程の改定について

② 理事長の職務執行状況報告について

◇ 第3回理事会

審議事項

第1号議案 2018(平成30)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分一般会計第2次収支補正予算(案)について

第2号議案 2019(平成31)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分事業計画(案)並びに一般会計収支予算(案)について

第3号議案 給与規程の改定(案)について

第4号議案 評議員会招集日の承認について

報告事項

① みゆき広場(生活介護事業)運営規程の改定について

### ◎評議員会の開催状況

本年度は、3回の評議員会を開催しました。開催状況は以下の通りです。

	開催日	出席者		
		評議員	理事	監事
第1回定時評議員会	6月27日(水)	5名/7名	1名	2名
第2回評議員会	1月30日(水)	7名/7名	1名	1名
第3回評議員会	3月25日(月)	6名/7名	1名	2名

#### <評議員会議題>

##### ◇ 第1回定時評議員会

###### 審議事項

第1号議案 2017(平成29)年度社会福祉法人歓びの園計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について

###### 報告事項

- ① 2017(平成30)年度法人本部拠点区分及びみゆき広場サービス区分及び指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分事業報告について
- ② みゆき広場運営規程の変更について

##### ◇ 第2回評議員会

###### 審議事項

第1号議案 2018(平成30)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分一般会計第1次収支補正予算(案)について

###### 報告事項

- ① 経理規程の改定について
- ② みゆき広場(生活介護事業)運営規程の改定について
- ③ 理事長の職務執行状況報告について

##### ◇ 第3回評議員会

###### 審議事項

第1号議案 2018(平成30)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分一般会計第2次収支補正予算(案)について

第2号議案 2019(平成31)年度法人本部拠点区分・みゆき広場サービス区分・指定特定相談支援事業所みゆき広場サービス区分事業計画(案)並びに一般会計収支予算(案)について

###### 報告事項

- ① 給与規程の改定について
- ② みゆき広場(生活介護事業)運営規程の改定について

### ◎評議員選任・解任委員会の開催状況

本年度、評議員選任・解任委員会は開催しませんでした。

**【役員等研修の状況】**

- 2019 1. 24 社会福祉法人 監事研修（福山会場）  
広島県民文化センターふくやま 吉田監事・野村監事・生藤理事長
- 2019 1. 24 社会福祉法人 理事・評議員研修（福山会場）  
広島県民文化センターふくやま 生藤理事長
- 2019 2. 20 平成 30 年度社会福祉法人決算研修  
広島県民文化センターふくやま 生藤理事長

2018（平成30）年度

生活介護事業所  
みゆき広場  
事業報告

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

社会福祉法人 歓びの園

## はじめに

理事長 生藤章洋

この度の、平成30年7月に起こりました豪雨により被害を受けられた多くみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。近隣地域におきましても過去にない水害に見舞われ多くの被害にあいました。想定外の事態が起こりうることに備える必要性を強く思いました。

さて、平成29年4月1日に社会福祉法人制度の改革が施行され、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務、行政の関与の在り方が改革されました。平成31年度は、改革後初めて法人役員の改選期にあたります。障害福祉サービス事業へ一般企業も参入する中、社会保障が脅かされないようしっかりと障がい者支援はどうあるべきかを考えながら経営の安定を図って参ります。皆さまのご支援とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

みゆき広場の利用者状況については、前年度と比較して延べ379人分通所日数が増えており、平均利用率は30.5人に利用増となりました。登録利用者38名の内1名は長期入院中、1名は通所せず自宅で1人暮らしをしながら居宅サービスを利用されています。また、新たに2018年7月から1名2019年3月からは2名の利用者が増え実利用者は現在36名になりました。その内1名は2019年5月には元いた就労継続B型事業所へ移動されました。

職員人事については、10月29日に1名と1月7日に1名非常勤の支援員を採用いたしました。また、12月28日に非常勤支援員1名と2月28日に常勤職員が1名退職し、支援員の人員配置体制は2:1が5ヶ月、1.7:1が7ヶ月と年度内で変動しています。2019年4月1日新年度からは前年度平均利用率30.5人に対して常勤9名非常勤8.4名の17.4名で2:1の配置で支援を行っています。

実習受入では福山平成大学から社会福祉士実習生を2名受け入れ、資格を有する職員が担当しています。福山医療専門学校からは4名が実習に来ています。利用者実習では福山北特別支援学校から2名、西備特別支援学校から1名の実習を受け入れています。卒業後にサービス利用の希望が多い中1名を受け入れしています。その他、他の事業所から1名、放課後等デイサービスから1名の合計3名が増員となりました。

施設設備整備では、ノートパソコン、放送機器、キャノン Fax 複合機、キャノンレーザープリンタなど事務電化用品の入れ替えや、洗濯機の入替など老朽化に伴った買い替えをしています。また、防災用品として救命胴衣を利用者、職員用に59着整備しました。AED（自動体外式除細動器）も利用者や職員の救命処置のための医療機器を整備しました。その他、各所修繕が必要な個所としては浄化槽の蓋が老朽化のために部分破損しており、蓋全部を交換する工事を現在検討しています。

利用者処遇面では、12月に1名が両目の白内障手術を全身麻酔でおこない、入院のため付き添い支援を行いました。その他、自宅療養を続けていた胃瘻が必要な利用者を受け入れ、事務所で看護師が胃瘻を行い、通えるようになりました。現在はミキサー食で支援員が昼食介助を行っています。その他の利用者2名については、家での支援が困難なため、複数の入所施設での短期入所を連続で利用しています。本人が体調を崩して短期入所が受入不可能になった場合はみゆき広場に宿泊して職員が対応をしています。最近では短期入所の受け入れを断られることがあり、みゆき広場に宿泊して職員が対応をするケースが増えています。2018年7月6日（金）の広島県豪雨の日も、みゆき広場に泊まっていた、7月7日（土）朝には一面水浸しで玄関近くまで浸水してきました。消防からレスキュー隊に出動してもらい難を逃れました。改めて、自然の恐ろしさを知り、救命胴衣の整備、水害避難訓練のマニュアル整備、訓練実施など防災の為の対策を講じました。

## ＜2018 年度みゆき広場利用状況＞

### ◇出欠状況(延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	通所日(日)	22	22	23	23	22	20	24	22	21	20	21	22	262
	利用延人数(人)	657	661	699	687	687	623	733	663	652	620	614	657	7953
	平均利用率(人)	29.9	30	30.4	29.9	31.2	31.2	30.5	30.1	31	31	29.2	31.5	30.5
2017年度	通所日(日)	22	22	24	22	21	22	23	22	21	20	21	23	263
	利用延人数(人)	620	641	689	645	612	620	644	623	597	591	608	684	7574
	平均利用率(人)	28.2	29.1	28.7	29.3	29.1	28.2	28	28.3	28.4	29.6	29.0	29.7	28.8

\*2018年度:通所日262日, 利用延べ人数7,953人, 平均利用率30.5人

### ◇年代別 (人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
女性	0	4	1	4	2	1	12
男性	2	5	2	15	0	0	24
合計	2	9	3	19	2	1	36

### ◇障害支援区分 (人)

区分	2	3	4	5	6	合計
女性	0	0	2	2	8	12
男性	0	0	2	2	20	24
合計	0	0	4	4	28	36

2019年3月31日現在(実利用者)

## 【週間カリキュラム別状況】

### 《手作り》

- ・今年度の目標 それぞれが新しい技術の習得を目指し、製品の質の向上を目指す。  
また、イベント毎の出店で売れ筋商品を把握し作り進め収入を増やす。  
昨年度より取り組んでいる雑巾販売は順調に注文を受けている。引き続き丁寧な仕上げを目指し使い心地の良い喜ばれる製品の制作を目指していく。  
更に、昨年度から販売している動物を形取ったランチョンマットも好評販売出来ており種類を増やし安定した収入を目指していく。  
新たな製品の開発にも力を入れていきたい。
- ・実施場所 新館、食堂
- ・実施日と時間 月・火曜日／10：00～11：30・月・火・水曜日／13:00～14:30
- ・目的 制作する喜びを味わい、製品を販売して社会参加をする。
- ・内容 革を使った財布やペンケース、布製品の小物入れの製作、毛糸の織物、髪飾りづくり、ビーズでブレスレットなどのアクセサリ製品等の制作を行う。
- ・全体の評価 昨年度同様、次年度のふれあい広場やみゆきフェスタとリム福山販売に向け売れ筋を予測しながらで製品を作っていくようにしてきた。利用者の作業技術も向上している。個別スペースを活用することで、集中力を継続させ、作業量や丁寧さも上がっている。また、今まで縫い物に携わっていない利用者についても工夫した補助具などを使用し練習をスタートで来ている。ビーズ製品についても、みゆきフェスタでは毎回早くに完売するほどで、生産に力を入れている。主にブレスレットを作成しており、ビーズ作業も利用者それぞれの技術に合った補助具を作成、活用することで複数の色のビーズを決まった順番で通し規則正しくカラフルなビーズ製品の作成ができるようになってきている。  
昨年に続き、注文を受け注文品を作成するという機会も多く、利用者が、注文してもらったという意識を持ったことで、作業に対する意欲がかなり向上している。買っていただいた方も非常に喜んでいただき、利用者にとって達成感を感じるよい機会となっている。  
また、販売用の雑巾も、仕上がりの質を向上させ、販売に向けた制作が出来ている。

### 【作製品目】

- 布製品 : 小物入れ・ポーチ・バック・きんちやく袋・ペンケース・雑巾
- 革製品 : 今年度製作を行っていない。
- ビーズ製品 : ブレスレット

### 《和紙作り》

- ・今年度の目標 それぞれが、作業分担を行い一つの製品が完成するまでに多くの利用者が作業にかかわれるようにしていく。製品加工数を少しずつのぼし季節に応じた商品などを量産し利用者の工賃アップにさらに努めていく。製品の丁寧な作成に心がけ完成度の高いものが販売でできるようにしていく。みゆきフェスタ、ふれあい広場以外にも地域の方々へと広く深くつながっていける機会を増やしていく。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 月・金曜日／10：00～11：30
- ・目的 牛乳パックを使った和紙製品作りを通して機能訓練、社会参加をはかる。
- ・内容 牛乳パックを利用して和紙つくりと製品作りを行っていく。牛乳パックから製品を作る過程の中で一つでも多くの工程に参加してもらい製品が完成したことの達成感をもってもらう。紙の細かい繊維等にふれることで本人のもつ感覚を刺激する。
- ・全体の評価 今年も、昨年同様さまざまな販売機会を得て和紙製品の販売を行った。他の施設等の製品と比べ値段設定が低く製品の完成度が高いことから着実に売り上げをのばしてきている。参加する販売会により客層が異なるため少しずつ売れ筋がちがっているものの一定して日頃の感謝を伝えるカードや、封筒、便せんは現代社会においても必要で売り上げをキープしている。今後も、販売会の売れ



すじに着目し、分析し利用者の工賃アップにつなげていきたい。そして、今後も利用者さんが作業工程にしっかりと集中してとりくめるように環境設定や、作業内容を工夫していく。①2018年8月（彩りフェスタ） ②2018年11月（みゆきフェスタ） ③2018年7月（福祉北夏祭り） ④2018年9月（かやのみ幼稚園）等に参加。今回は、4月のふれあい広場の販売だけでなく上記の参加機会を得て、みゆき広場を知ってもらいよい機会となったのではないかと思う。

#### 《音楽》

- ・今年度の目標 全員が一体となって活動を行える環境をつくり、音楽を通してさらなる表現力をつける。
- ・実施場所 作業場1
- ・実施日と時間 火・金曜日／13：00～14：30
- ・目的 音楽を通して心身に快い刺激を与え、情緒の回復や安定、リフレッシュを図る。
- ・内容 曲に合わせて手や体を動かし、リズムを体感する。  
一つの曲を一緒に行うことで「やった」という満足感を共有し、自分なりに表現していく。  
カラオケなども含め皆で楽しく過ごす。また、クリスマス会のステージ発表に向けての練習にも、楽しく取り組んでいく。
- ・全体の評価 火曜日は、感覚刺激を主な目標とした音楽療法を行っている。みんなで輪になって曲に合わせて、鈴やタンバリンを鳴らしたり、手拍子したり、ボンボンを投げあったり、ボール遊びをしたり、バチを叩いてリズムをきざんだり、シャボン玉をしている。リラックスとクールダウンを兼ねて、日本昔話を見ることもある。利用者にわかり易いようにいつも同じ曲順・ほぼ同じ曲で行っている。そのため、利用者は流れを覚えており、積極的に自ら行動する様子が増えている。準備や片付けは利用者に役割としてやってもらっている。参加している利用者は良い表情で取り組み、体もよく動かしている。  
金曜日は、12月の忘年会クリスマス会での発表を目指して、1年かけて、曲選びや構成、衣装などをみんなで話し合い、練習を行ってきた。2018年度は、テーマを「ハリウッド」と決めた。ハンドベルで「ミッションインポッシブル」、合唱で「スタンドバイミー」、ダンスで「サタデーナイトフィーバー」、楽器演奏で「ターミネーター2」を発表した。個々の利用者がそれぞれのパート・役割を持ち、みんなで協力して曲を演奏した。集中を切らさず、練習に取り組む体力もついてきている。1年かけて同じ曲を練習してきたので、発表への意欲もみんなから感じられた。入退場や曲の切り替わりもスムーズにでき、練習の成果があった。発表前は少し緊張した表情も見られたが、それぞれの利用者が練習以上の力を発揮することができ、発表後は、みんなの表情から達成感が窺え、みんなで喜びを共有することができた。

#### 《ガーデニング》

- ・今年度の目標 各利用者それぞれに何らかの役割をもって作業に関わることにより自然と親しむ経験を増やしていく。そして、水やり等が必要な時期はジョロを使用し水やりをするなど、カリキュラムメンバーとしての役割を果たしていく。四季に応じた野菜や、人気のある野菜の栽培への挑戦を行っていき、今後も利用者の工賃アップにつなげていく。また、収穫した野菜の調理方法や使い方の幅を広げていく。その他、季節をかんじられる場所（農園、公園）などにでかけ気分転換をはかっていく。
- ・実施場所 作業場1、食堂、みゆき広場の畑
- ・実施日と時間 月・水曜日／13：00～14：30・木曜日／10：00～11：30
- ・目的 園芸をとおして気持ちを穏やかにして暮らしの楽しみをひろげる。  
自ら土づくりから行い、野菜の栽培、収穫を通し、食の大切さを学んでいく。
- ・内容 自分たちが栽培している野菜がどのように成長していくのかを観察し学ぶ機会

を学んでいき、時期を考えながら収穫し必要に応じて草取りなども行っていく。また、季節の美しい花、香りのよい草花を育てることで精神の安定をはかる。自らの手で直接土を触る。(栄養のある土作り)道具(一輪車、耕運機、スコップ、ジョロ)などを用いて作業をすることで自然と親しむ。新しい野菜の栽培を行っていく。また、収穫した野菜で、漬物を作ったり、調理をする事で、食の大切さと喜びを経験する。また、天候により生育不良になった野菜の原因等を考えながら次の栽培につなげていく。

- ・全体の評価 今年度より、週2回から、週3回に活動時間も増えて、ガーデニングカリキュラムを体験した事のない利用者も新たに加入し経験を重ねている。畑の方は例年同様1年を通じて定期的に野菜が収穫できるよう計画的に栽培する事が出来た。春は、ジャガイモ、エンドウ、玉ねぎ、夏は、茄子、きゅうり、南瓜、ゴーヤ、トマト、ズッキーニ、スイカ等作り、きゅうりは漬け物にしたりして販売している。秋から冬にかけては、さつまいも、大根、白菜、ブロッコリー、春菊、チンゲン菜、ほうれん草・水菜等で、大根は漬け物にして販売したり、切り干し大根を作ったり、大根葉も捨てずに使用し厨房で調理していただき、菜っ葉ご飯や、天婦羅にしてもらいみんなでおいしく大事に食べている。夏の水害や日照りが続いた為、野菜の生育があまりよくなかった。可能な限り、手をかけていき育てたが、ピーマン・ナス・サツマイモの生育は特に悪く収穫量も少なかった。野菜以外では多肉植物などの栽培も行い、冬には、干し柿作りや門松も制作している。夏場の草ぬきや、畑の土づくりなど大変な作業もあるが、収穫するのを楽しみに野菜を育てている。

#### 《創作》

- ・今年度の目標 グループ作品の作成を増やし、協力して1つの形を作り出すことの喜びを感じる。個人で制作した作品をコンクール等に出展し、達成感を感じる。新しい作品展への応募を増やし、作ることの喜びと達成感を感じてもらう。
- ・実施場所 作業場1、作業場2、新館
- ・実施日と時間 火・金曜日/13:00~14:30・水曜日/10:00~11:30
- ・目的 同じ目標にむかい、協力して作品を作り上げる。絵を描く楽しみや、作品を作り上げた後の達成感などをもってもらう。
- ・内容 毎月のカレンダー作り、出展作品、応募作品作り、行事で使用する飾り作り、ふれあい広場でみんなにみてもらう作品作りなど、個人作品制作の取り組みを強化していく。
- ・全体の評価 今年度の活動では、個人作品作りを行うことが難しく主にグループ作品作りに力を入れている。全体作品としては、独創的な作品作りに取り組むことができた。①洗濯機を購入した際の段ボールの作品。②テニスボールに思いをこめてぶつけての作品。③割り箸のみを使用しての福山城。④紙粘土と割り箸を使用しての大阪城。⑤四角にきった画用紙に色をぬって人の顔にみえるようにはりつけた作品。この作品に関しては、ローズコムに展示を行った。個人作品としては、今年は(アートルネッサンス2019)に作品をみゆき広場から11作品応募し1作品が入賞した。そして、その入選作品が審査員特別賞を受賞している。そのため、広島袋町にて展示されている作品展を職員と共に鑑賞しに出かけている。その他、行事の飾りづくりにも創作カリキュラムのメンバーとして、力をいれて作成をおこなった。2019年 月にヒュールポンの講師派遣事業を今回も利用させてもらい、みゆき広場利用者のうちの希望者のみで作品作りを行った。(墨・ろうそくのロウ・半紙を使用しての墨絵を作成)。今まで使ったこともない道具を使用しての作品作りは、利用者、職員共に新たな気づきと発見となったようで今後の作品作りにかける知識を得たように思う。利用者も、作品作りをアーティストから直接教えてもらうことで刺激となったようである。

【障害者週間における作品展一ローズコムのエントランスホールに飾る。

一画用紙に色を塗って顔に見立てた作品】

【アートルネッサンス2019入選・審査員特別賞受賞作品】 石田 利恵 … (実り)

【ダイハツとの1年契約で今まで作成した全体作品や個人作品を展示】

### 《リサイクル》

- ・今年度の目標 缶の仕分け、缶つぶし、袋入れ、回収品運び等、利用者様全員が何らかの役割を持って作業に参加する様、作業内容を工夫する。回収先、納品先での挨拶等を大切にする。  
清掃活動を行い、地域とのつながりを大切にする  
利用者様1人1人に合わせて作業を考えて行き、楽しく作業が出来る様に支援できるように作業ができる環境を職員が整備し支援する。
- ・実施場所 みゆき広場旧館前大屋根周辺・本館玄関ホール
- ・実施日と時間 月・水・金曜日/10:00~11:30
- ・目的 リサイクル物品を通じて地域社会につながっている意識づけを促す。
- ・内容 缶をアルミ缶とスチール缶に分別し、アルミ缶をつぶして業者に納品する。  
定期的に段ボール・古紙を業者に納品する。  
定期的に缶・古紙・段ボール等の回収に行く。  
地域の清掃活動をする。(河川敷を中心に)

### ＜協力企業等、順不同＞

- ・回収先 今福内科クリニック、Menicon Miru 福山店、住友林業、(株)純日本年金機構 福山年金事務所、三上治療院、かやのみ保育園、日栄産資(株)加茂工場、藤井製瓦工業(株)、三栄建設(株)
- ・納品先 (株)かこ川商店、三宅金属(株)
- ・全体の評価 作業者の得意な面を生かして仕事をしてもらってきた。  
全般に作業内容を把握してきており、仕事も積極的にするようになってきている。自分の仕事だと自覚している人もいて、やりがいを持って仕事をするようになってきている。回収先と納品先では挨拶する事が定着してきており、促しや自発的にできる人もいる。

### 《散歩》

- ・今年度の目標 体を動かし、歩くことで身体の機能維持と、精神安定につとめ健康に過ごす。外部の人と、挨拶などをかわすことなどにより社会性を身につける。山の景色などから季節を感じ、リフレッシュを図る。歩くことで運動不足を解消する。自然の中で遊び、心身のリフレッシュを図る。山登りでは坂道のあるウォーキングコースを歩き、景色を楽しみながら歩く。勾配のある道を歩くことで歩行の練習をすると共に肥満軽減をはかる。さまざまな景色・物に触れるなどして気持ちの開放をはかる。
- ・実施場所 駅家公園、駅家東公園、あんず公園、草戸稲荷神社、竹ヶ端競技場、春日池公園、加茂運動公園、笠岡道の駅、三和ステーション、動物園横公園、フジグラン、山野農村公園、井原リフレッシュ公園、港町公園、イトーヨーカドー、みゆき広場近辺、春日池公園、沼名前神社等
- ・実施日と時間 火・木曜日/10:00~11:30 月・水・金曜日/13:00~14:30
- ・目的 歩行機能と体力の維持、増進、肥満軽減等を図る。心身のリフレッシュと気分転換を図る。楽しみつつも、体力増進、機能維持、肥満軽減などを促す。  
山登りでは坂道を歩くことにより、脚の筋肉をつけるなど歩行の練習をする。
- ・内容 井原リフレッシュ公園やあんず公園等まで施設車両で行き、公園内のウォーキングコースを利用者の状況に配慮しながら歩く。雨天の場合には、屋根のある場所に行き、歩いたり、室内にて体を動かし体力増進やリフレッシュを図る。山登りでは井原リフレッシュ公園の山コースを歩いて登る。遊山では持って行った道具や公園の遊具を使って遊んだり、公園内を散策したりする。
- ・全体の評価 殆どの利用者が促さず、自発的に歩く利用者が多い。散歩中に出会う人と挨拶を交わして社会との交流を楽しみにして励みになっている利用者も居る。

井原リフレッシュ公園の山登りコースを歩ける利用者が増え、列を組んで声を掛け合いお互いに切磋琢磨して歩く姿が見られた。雨天時には、室内にてストレッチ運動やダンス等を楽しみながら身体を動かして柔軟性や筋力を高め体力増進や機能維持を促進している。全般に利用者みんな歩く距離が、長くなっているが、無理をせず体調により距離を増減している。万歩計を使ったり、自分で目印を決めて歩く人もおり、目標達成を励みにする姿も見られた。公園内にある遊具を使って遊びながら身体を動かす利用者も居た。フジグランや福山コロナシネマワールド、道の駅さんわ等店へ行った時には店内の好きなものを観ながら歩いてウインドショッピングを楽しんでいる。本年度は、体調不良者が多く、本館ゆっくり組と、ドライブ組に分ける等、利用者の体調を考慮した対策を講じる事が多かった。春は梅や桜、夏は暑さ、秋は紅葉、冬は寒さ、散歩を通じて四季を感じながら元気よく散歩してきた。

### 《リラクゼーション》

- ・今年度の目標 PT と連携を取りながら、利用者に応じたメニューを行う。訓練を重ねることで本人が抱える身体負担の軽減を図る。個人のペースに合わせ、細かく評価をしていくことで本人の訓練に対する意欲の向上を図る。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 火・木・金曜日／10：00～11：30
- ・目的 気持ちを、解放させる。障害があるゆえの無理な姿勢や過剰な動きによる筋肉の緊張を緩める。少しでも生活しやすい身体づくりをする。
- ・内容 ストレッチ、マッサージ、歩行訓練、足浴など楽しいことをとりいれながら無理なく生活場面で行っていく。  
また、自転車やストレッチポールといった道具も使いながら体を動かしていく。
- ・全体の評価 本年度も、服部 PT による利用者の状態確認を元に、訓練の内容を検討し、今現在の当人にとって必要と思われる訓練を行ってきた。また、PT との連携もあり、個々の状態を細かく確認し定期的に効果を評価することもでき、利用者の中の変化にいち早く気付くことができ、次なる目標設定を設けることができている。目覚ましい変化を見せる利用者もいた。訓練のメニューも多彩となり、個人の状態に合わせたメニューで行うため、今後の変化に期待が持てる。各利用者の訓練メニュー積極的に参加することができ今後も継続した訓練が必要である。

### 《箱庭》

- ・今年度の目標 穏やかな時間を過ごして、リラックスにつなげる。  
利用者がもつ表現力を引き出す。
- ・実施場所 相談室
- ・実施日と時間 月・水曜日／10：00～11：30
- ・目的 箱庭を楽しむ。箱庭療法を通じ、利用者の気持ちの安定を図る。感覚を刺激する。
- ・内容 みゆき広場の医務室を使用し、箱庭療法を行う。
- ・全体の評価 1対1で対応している。1日1～2人で、順番に行っている。一人一人、遊ぶものが決まってきた。砂を触って、つかんだりする人、砂の上におもちゃを並べる人、その時に目に止まったものを並べる人、メロディの鳴るおもちゃやぬいぐるみで遊ぶ人、おしゃべりする人、絵本を読む人など一人一人に楽しみ方があり触覚、聴覚、視覚を刺激できている。童謡が流れる絵本や電車の音の出る絵本を新しく入れた。それで遊ぶ人も多くいる。ほとんどの利用者が箱庭の時間を良い表情で過ごすことができている。箱庭の日ではないときに、部屋のドアの前まで来てドアが開くのを待っている利用者もあり、また行きたくなるような楽しい時間・空間を感じてくれていると思われる。

### 《生活》

- ・今年度の目標 意欲的に活動に取り組み、新しい技術の習得を目指し、協力して仕事を成し遂

- げる経験を積む。
- ・実施場所 みゆき広場敷地内
  - ・実施日と時間 水曜日／10：00～11：30
  - ・目的 生活全般に関する活動を行い生活技術の習得を目指す。  
施設敷地内で行える活動を通して、仕事に対する喜びを感じる。  
地域に、関わるような活動を目指す。
  - ・内容 洗車（施設車両）・草抜き（施設敷地内）・洗濯・掃除・陶芸・その他必要に応じて活動を行う（和紙製品に使う牛乳パックの紙ちぎり、シュレッダー作業、準備、行事準備の手伝い、地域の方の家にチラシ配り。）
  - ・全体の評価 2018年度は館内の清掃、施設内、職員駐車場の草取り、送迎車の掃除、地域へのチラシ配り、陶芸等を行ってきた。館内清掃では窓磨き、下駄箱掃除、エアコンフィルター掃除を行っている。送迎車では室内清掃を行った。陶芸について2018年度は2回しか行っていない。2019年度は陶芸を行う回数を増やし、利用者個人の発想を元に色々な作品作りを行っていきたい。草抜きについて2018年は酷暑だった為、気温を確認しながら施設周辺や職員駐車場の草取りを無理しない様取り組んで行った。しかし利用者の一人のこだわりが強い為、職員と一緒に草抜きを行って貰っている。又、創作グループと合同でみゆき広場の行事の看板、飾り作りを協力しながら取り組んで行った。活動については協力し合い積極的に行われる様になって来ている。人数的に利用者と職員がマンツーマンで対応できる体制が取れていた為、活動にしっかり参加して貰えた。

#### 《ドライブクラブ》

- ・今年度の目標 道中や車中でも楽しめる、また到着地でも楽しめるような場所設定をし、休憩場所やトイレ、水分補給をスムーズに行えるように計画にしていく。  
行きたい場所は利用者の意見を取り入れながら、楽しんで参加でき、車中でも楽しく話ができる雰囲気作りを行っていく。  
運転には十分注意し、安全運転に徹する。  
出先で体験出来る事があれば進んで参加する機会を提供出来るようにする。
- ・実施場所
 

4月：7日 ふれあい広場ステージ練習	14日 ふれあい広場リハーサル
5月：19日 笠岡 道の駅 ポピー畑	
6月：2日 球技大会練習	16日 笠岡古代の丘スポーツ公園
7月：15日 合同でレク	
8月：4日 合同でレク	19日 葡萄浪漫館
9月：1日 府中 道の駅	15日 全体
10月：6日 沼隈 道の駅	20日 三和 道の駅
11月：17日 全体でカラオケ	
12月：1日 笠岡飛行場：空と大地のカーニバル	15日 井原駅：クリスマスツリー
1月：5日 府中 道の駅	19日 府中 首無し地蔵
2月：3日 節分行事準備	17日 合同でレク
3月：2日 菅茶山記念館	16日 避難訓練：平成公園
- ・実施日と時間 土曜日／10：00～11：30
- ・目的 外気浴を楽しむ。  
車窓からその季節きせつの景色や風を感じリフレッシュを図る。  
利用者にドライブを楽しんで貰える様にする。
- ・内容 車で近隣地域をドライブする。
- ・全体の評価 往復で90分前後で行ける範囲で、利用者のリクエスト・職員の提案により車外に安全に降りる事ができ、トイレ（身障者用・洋式）がある場所を考え季節や自然に触れ合い、雨の日でも車窓からでも楽しめる様な場所を考えながら目的地を設定して来た。目的地によっては帰りの時間が遅くなりそうな時は、利用者にも早めに声かけを行い出発時間を早める等の対応を行ってきた。配車割・席次も利用者同士の性格・相性なども考えながら行ってきた。また、目的地で車外に出て安全に散策できるよう、マンツーマンで着く利用者に対しての職員配置を行ってきた。

対応できる職員数が足りない事があり、全体やスポーツクラブ合同でレクレーションを行っている。利用者も増えた事もあり、外出する車の台数が増えるが、怪我や事故のないよう、安全運転を心がけ利用者が楽しめる様なドライブクラブを目指していきたい。

#### 《お料理クラブ》

- ・今年度の目標 興味を持って、楽しく活動に取り組む。  
完成までの作業工程を把握しながら作業に取り組む。  
みんなで作業を分担し、協力して1つの料理を完成させる。  
料理のスキルを向上させる。  
衛生面への意識を持つ。
- ・実施場所 食堂
- ・実施日と時間 土曜日／10：00～11：30
- ・目的 料理の楽しさを知る。達成感、満足感を得る。感覚を刺激する。  
形の変化を味わう。
- ・内容 土曜日の昼食の小鉢一品やデザート作りをする。  
次回作る料理を考える。  
みゆき広場のガーデニングで収穫した野菜や果物を出来るだけ取り入れ、季節を感じられるメニューを作る。
- ・全体の評価 今年、みゆき広場で収穫できた野菜を使った料理も多くできた。今年度から新しくメンバーが二人加わっている。みんなで作業を分担し、協力して取り組むことができている。一人一人に得意なことがあり、得意な場面は任せるようにしてきた。今まで作ったことのないおかずやデザートを作ることに引き続き挑戦してきた。「おいしかったよ、また作ってね」とみんなから声をかけてもらうことも多くあり、お料理クラブメンバーの嬉しそうな表情を見ることができた。また、「次もがんばろう」というやる気にもつながっている。次回作る料理の会議も色々作りたいものが意見として出るようになってきている。卵を割ったり、野菜を絞ったり、具材を混ぜたり、お玉やフライ返しを使用したりと、料理のスキルも一人ずつ上がっているように感じる。衛生面に関しての意識は低く、手袋をしたまま頭や顔をかいたり、マスクをずらしたりすることがあり、今後も支援が必要である。また、爪が伸びていることも多くあり、活動前に職員がチェックして、爪切りをしている。

#### 《スポーツクラブ》

- ・今年度の目標 基礎体力をつける。肥満軽減。運動やスポーツの楽しさを味わう。球技大会とスポーツ大会の出場者は、楽しんで参加する中で入賞を目標に取り組む。
- ・実施場所 作業場1・井原リフレッシュ公園・近所の公園・河佐峡など
- ・実施日と時間 土曜日／10:00～11:30
- ・目的 健康維持増進を目的に、スポーツを通して楽しみながら体を動かす。
- ・内容 戸外でのスポーツも取り入れ、楽しくスポーツを行うと共に体力作りを行っていく。
- ・全体の評価 どの活動も楽しんで体を動かすことを目的に行っており、ストレッチや準備体操、ダンスの後に組み込んで、怪我の防止に努めている。また、運動中は、みんなで応援して体を動かす喜びが味わえるようにしている。  
室内では、フライングディスク・ボウリング・バレーボール・卓球・ストレッチ・ダンス・サッカー・円ドッチボール等の運動に取り組んでいる。屋外では、短距離走・フライングディスク・バトミントン・ソフトボール投げ・幅跳び等のスポーツ大会や球技大会の種目に加え、周辺散歩やランニングを行う。出場する競技種目の練習にも取り組み、大会への意欲や競技の仕方の確認などを行っている。  
年齢に幅があり、利用者それぞれの運動能力も違うため、無理なくできる範囲での運動を取り入れていった。難しいルールに興奮する様子が見られる利用者

もいるため、できるだけ簡単なルールにしたり、目に見えてわかりやすいようにしたりした。また、途中の休息や水分補給なども適時とっていき、体調にも配慮して取り組めたと思う。肥満軽減の面では、効果の有無が利用者ごとに異なるが、無理なく負荷をかけながら取り組めた。

### 【年間企画、参加行事】

- 2018 4. 15 第31回ふれあい広場（みゆき広場）  
 6. 3 東部地区親善球技大会（尾道市びんご運動公園）  
 7. 13 デイキャンプ（みゆき広場）  
 7. 21 福山北特別支援学校夏祭り参加（福山北特別支援学校）  
 7. 21 かやのみ幼稚園バザー自主製品販売（かやのみ幼稚園）  
 8. 18 彩フェスタに出店で参加（リムふくやま）  
 9. 16 東部地区親善スポーツ大会（福山市竹ヶ端 陸上競技場）  
 11. 2 日帰り旅行（今治タオル美術館）  
 11. 10-11 みゆきフェスタに出店で参加（御幸小学校）  
 12. 21 忘年会クリスマス会（みゆき広場）  
 2019 1. 11 新年会（みゆき広場）  
 2. 4 節分（みゆき広場）\*風邪ひき多数コンパクトに開催

### 【健康管理】

日常生活に必要なバイタルチェック（体温・血圧・脈拍数）を毎日行っている。看護師は水曜と土曜以外の平日 AM9:00～PM12:00 に勤務しており、利用者や職員のバイタルチェックについて必要と思われる適切な措置を講じている。また、協力医療機関の連絡調整や、健康保持のために必要な支援を行っている。

### ○2018 年度健康診断

- ・日 時：2018年11月30日（金）13:00 から
- ・場 所：みゆき場 本館 作業場1
- ・実施人数：利用者 男子：21名 女性：12名  
 ※1名は11月24日福山検診所で受ける。
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査）・視力・聴力・胸部・X線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査

### ○2018 年度職員健康診断

- ・日 時：11月5日（月）から11月22日（木）／ 24名
- ・場 所：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・実施人数：職員 男性11名 女性13名
- ・実施機関：医療法人社団 仁恵会 福山検診所
- ・健診内容：・生活習慣の調査・既往歴・業務歴の調査・自覚及び他覚症状の検査・身長・体重・腹囲・BMI・理学的検査（診察）・血圧測定・尿検査（尿中糖及び蛋白及びウロピリの検査）・視力・聴力・胸部 X線撮影・心電図検査・血液検査（肝機能・脂質・糖尿病検査）・尿検査

### ○2018 年インフルエンザ予防接種実施報告

- ・日 時：2018年11月30日（金）13:00 から
- ・場 所：みゆき広場 作業場1
- ・実施機関：福山検診所
- ・実施人数：利用者 男子：17名 女性：7名（希望者のみ）  
 職 員 健康診断実施日に福山検診所にて実施。24名

### 【お口の健康相談】

実施機関 医療法人社団 義恵会 土屋歯科医院  
実施期間 2018年10月12日(金) / 10月26日(金)  
実施人数 15名(10/12) / 16名(10/26)

昨年に続きお口の健康相談を行っていただき、その内数名がご家庭で訪問歯科を利用され、歯科治療をすることが出来るようになったことで、ご家族に大変喜ばれている。

## 【各種会議の状況】

### 1) 職員会議

職員会議は原則第1土曜日の15:20~17:20の2時間で行っている。毎月の協議及び、周知すべきことを、職員会議において決めている。また、施設内研修、ケア会議もこの時間でおこなっている。

### 2) ケア会議

毎日の連絡会議終了後、月に2回木曜日にケア会議を行っている。会議においては、利用者のモニタリングを行い、個別支援の見直しを行っている。会議において個別支援を変更する必要がある場合は、利用者並びに家族の同意を書面で得た後、支援内容を変更している。支援計画の終了時には最終評価を行い、面談で再アセスメントを行い、ご本人のニーズにあった個別支援計画を作成している。

### 3) 連絡会議

毎日午後5時から5時20分まで開催し、利用者の状態の把握、翌日の予定などの申し送り事項を周知する会議として位置づけ行っている。

### 4) 給食会議

基本的には業務委託業者による加工済み食材を過熱して提供している。汁、ご飯については自己調理を行っている。利用者のリクエストを取り入れるため、毎月第3水曜日の誕生日会メニューについては調理員と施設長と誕生月の利用者で決めており、みゆき広場で自己調理を行っている。また、毎月第1土曜日をリクエストメニューの日として位置づけ、全員で主菜等を決めている。利用者が選びやすいように、主菜の写真を作り投票で選んでもらうなど工夫をしている。ここ数年は支援学校卒業後の利用者が増え、ボリュームのあるおかずの要望に応える為、2019年2月よりゆめサポートバク様の宅配弁当おかずのみを取り入れた。また、リクエストメニューではない土曜日にはカレー曜日として月に1回程度カレーを食していただいている。お弁当ではカレーがないため利用者皆様に大変喜んでいただいている。

### 5) 勉強会

毎月土曜通所日の14:00から15:00まで非常勤職員と正職員とで、支援について勉強してもらっている。利用者支援内容を共有することで利用者自身が困らないようにしている。非常勤職員からの提案も聴くことができ、職員のスキルアップや、より良い支援に繋がっている。

【防災訓練】火災を想定した訓練を年二回行い、防災意識を身に付ける機会を得る。

○第1回訓練(合同訓練/みゆき広場) 平成30年10月5日 10:00より開催

○第2回訓練(津波避難訓練/) 平成31年3月16日 9:40より開催

第1回目の総合訓練では、消防署員による講習を行い、火災だけでなく水害や地震等の自然災害等の知識を身に付ける機会を設けた。2回目の避難訓練では、津波発生を想定した訓練を行っている。この訓練から様々な問題点を洗い出し、実際の洪水発生時の利用者の無事に備えるマニュアルを見直した。

## 【職員研修、出張、視察等の状況】

### 1) 職員研修・各種大会等への参加・施設見学等の状況

2018 4. 26 平成30年度福山市社会福祉施設連絡協議会意見交換会

		福山ニューキャッスルホテル	生藤
5.	9	社会福祉法人虹の会 職員研修会	ジョイジョイワークあすか 生藤
5.	11	福山市地域福祉貢献活動協議会「研修会」	福山労働会館みやび 生藤
5.	15	第1回合同施設長会議(研修)	広島県社会福祉会館 生藤
5.	23	平成30年度発達障害支援基礎研修	広島県福山庁舎 宮本



6. 3 東部地区親善球技大会 尾道市びんご運動公園 辻・秦
6. 3、9、23、30 行動援護従業者養成研修 尾道市障害者生活支援センターあおぎり 高橋・大塚
6. 8 平成30年度社会保険事務説明会 ふくやま芸術文化ホール 井上
6. 8 福山市地域福祉貢献活動協議会第2回定時総会・研修会 福山労働会館みやび 生藤
6. 22 女性管理職用着手セミナー エム・シー福山ビル 井上
7. 6 福山市障害者（児）施設連絡協議会総会・福山市担当局部課との意見交換会 福山ニューキャッスルホテル 生藤
7. 10 利用者通院付添 倉敷中央病院 秦
7. 26 広島県知的障害者福祉協会施設長管理者職員研修会 広島県社会福祉会館 生藤
8. 7 2018年度広島県東部地区親善スポーツ大会全体会議 竹ヶ端陸上競技場 生藤
8. 7 TLSF第5回彩フェスタ出店者会議 リム福山 河村
8. 18 TLSF第5回彩フェスタ リム福山 上杉・山本・河村
8. 8、9 強度行動障害支援者研修（基礎研修） 安芸区民文化センター 宮本
8. 22 法令遵守に沿った介護記録集中研修 広島県健康福祉センター 宮本
9. 8 事務所説明会～障がいのある人の就労に向けて～ 福山市北部市民センター 秦
9. 9 第一回公認心理士試験 就実大学 上杉
9. 16 東部地区親善スポーツ大会反省会 ルオント 生藤・秦
9. 28 平成30年度安全運転管理者等講習 広島県東部運転免許センター 生藤
9. 28 感染症予防対策に係る説明会 広島県民文化センター 北村
9. 11、12 強度行動障害支援者養成研修（実践研修） 安芸区民文化センター 辻
9. 19、20 平成30年度広島県サービス管理責任者フォローアップ研修 広島工業大学専門学校 河村
10. 14 2018年度日帰り旅行下見 今治タオル美術館 ICHIHURO 秦・高橋・卯本・大塚
10. 16 第2回合同施設長会議 福山市西部市民センター 生藤
10. 28 第44回広島県知的障害者福祉大会 福山・神辺大会 神辺文化会館 生藤・秦
11. 7、8 平成30年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 広島県立障害者リハビリテーションセンター医療センター 桜井
11. 10、11 みゆきフェスタ2018・第39回町民文化祭 福山市御幸小学校 河村・山本
11. 20 平成30年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修テキスト 広島県庁福山庁舎 生藤
11. 24、25 社会福祉士実習指導者講習会 広島市安佐南区民文化センター 遠山
11. 29 第2回福山・府中圏域支援スタッフ部会研修会 草笛学園 辻
12. 4 職員研修会～介護の基本 良好な関係を築くには～ 広島県社会福祉会館 藤井
12. 5、6 強度行動障害支援者養成研修（実践研修） 広島県立障害者リハビリテーションセンター 桜井
12. 7 利用者退院の同行 賀茂精神医療センター 辻
- 2019 1. 27 第31回介護福祉士国家試験 広島市中小企業会館 徳永
2. 13、14 平成30年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 安芸区民文化センター 繁田
2. 12 「福山・府中圏域エンカレッジセミナー」 リム福山 辻
2. 16 「アート・ルネッサンス2019」審査員特別賞鑑賞 合人社ウエンディひと・まちプラザ 遠山・受賞利用者
2. 25 平成30年度第4回・総会広島県支援スタッフ部会議 広島県社会福祉会館 辻
3. 1 調理業務研修会 市役所本庁舎 生藤
3. 6 2018年度強度行動障害支援者研修 育成会総合福祉センター 秦
3. 10 「ゼノ」ホームなごみ ふくの里完成内覧会・式典 「ゼノ」ホームなごみ ふくの里 秦
3. 10 第16回障害のある人の地域生活支援セミナー 広島マリーナホップマーメイドスペース 生藤
3. 15 平成30年度障害福祉サービス事業者等集団指導研修

- 福山市まなび館ローズコム 生藤
3. 29 平成 30 年度一般社団法人トータルライフサポートふくやま総会  
福山障害者（児）施設連絡協議会 2018 年度第 2 回総会  
福山市すこやかセンター 生藤

#### 【ボランティアの状況】

団体 7 団体（ふれあい広場 52 名・旧館大掃除 20 名等）  
個人 22 名延 10 日（大学生 1 名・専門学校 2 名・一般 22 名）

#### 【施設実習等の状況】

##### 1) 実習生等来訪

福山医療専門学校 実習 4 名（8/27～8/29）（8/29～8/31）（9/3～9/5）（9/5～9/7）  
福山平成大学 実習 2 名（8/8～9/10・8/16～9/14）  
広島県立福山北特別支援学校利用実習 2 名（8/20～8/21・8/30～8/31）  
岡山県立西備支援学校利用実習 1 名（5/29～6/31）

##### 2) 旧館利用 団体 5（33 回）

##### 3) 理学療法士 毎週金曜日 9：30～11：30（46 回）

利用者の体の状態を確認し機能訓練プログラムを職員と相談し決定。経過を観察しプログラムの変更等を行った。

##### 4) その他

###### ◆事業所説明会

参加団体：障害福祉サービス 5 団体（9/8）  
主 催：特定非営利活動法人神辺育成会  
場 所：福山市北部市民センター

###### ◆アートサポートセンターひゆるる指導者派遣事業ワークショップ

参加者：21 名（みゆき広場利用者 17 名，外部 4 名）、  
アートサポートセンターひゆるる 2 名（10/4）  
講 師：西本 真裕子氏（アートアクティビティ・アートセラピー講師）  
場 所：みゆき広場

#### 【家族との懇談会】

第 1 回 4 月 5 日（木）13：30～15：00（みゆき広場旧館）  
第 2 回 7 月 12 日（木）13：30～15：00（みゆき広場旧館）  
第 3 回 10 月 18 日（木）13：30～15：00（みゆき広場旧館）  
第 4 回 1 月 17 日（木）13：30～15：00（みゆき広場旧館）

2018（平成30）年度

指定特定相談支援事業所  
みゆき広場  
事業報告

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

社会福祉法人 歓びの園

2018（平成 30）年度  
指定特定相談支援事業所みゆき広場事業報告

【職員体制】

- ・管理者 1名（みゆき広場管理者兼務）
- ・相談支援員 1名（常勤専従）

【基本相談】 ※担当利用者・家族等

【計画相談】

新規契約（4件） ※1件保留中  
サービス利用支援（83件）・継続サービス支援（75件）・モニタリング（100件）  
【 新規アセスメント実施（4件）・サービス利用計画案の作成（83件） 】  
※2018年5月～行動障害支援体制加算対応（145件）  
契約終了（3件：一般就労が決まったためサービス取り下げ）

- ・経過の利用支援 1611単位
- ・経過の継続支援 1310単位
- ・提供時モニタリング加算 100単位
- ・計画相談行動障害支援体制加算 35単位

【定例会出席】

福山市障がい者総合支援協議会「相談支援部会・相談支援事業所連絡会」  
・第3回9月11日（火）15：00～  
・第5回12月11日（火）15：00～  
・第6回3月8日（金）15：00～

【説明会】

- ・2018年度（平成30年度）制度改正（相談系サービス）に係る説明会について  
日 時：2018年（平成30年）7月30日（月） 15：00～  
場 所：福山すこやかセンター東館 健康教育室

【会 議】

福山市障がい者総合支援協議会「ネットワーク会議・研修会」

- ・第1回8月30日（木）13：30～16：30  
：研修会

「障害者雇用に学ぶ人材育成～皆が働ける良い会社を目指して～」

講師：広島県中小企業家同友会 県障害者問題委員長

大植 栄さん（有限会社メタルワーク福山 代表取締役）

福山市障がい者総合支援協議会第1回ネットワーク会議

- (1)「広島県障害者自立支援協議会 就労支援部会『就労継続支援A型事業所の適正な事業運営に向けた指導等の検証ワーキンググループ会議』の進捗状況について」  
就労継続支援B型事業所 松永作業所 管理者 森迫一成さん
- (2)「福山市の取り組みについて」  
福山市 障がい福祉課
- (3)各専門部会の今期の取り組みについて

【研 修】

- ・10月30日（火）13：30～15：45  
第17回「トータルライフサポートふくやま」研修会  
／福山すこやかセンター

- ・ 11月9日（金）13:30～16:45  
平成30年度相談支援研修  
／リムふくやま
- ・ 11月10日（土）11:00～17:20  
みゆきフェスタ2018・第39回町民文化祭  
／御幸小学校
- ・ 2月25日（月）16:00～17:00  
福山市障がい者就労支援強化事業に関する説明会  
／福山すこやかセンター
- ・ 3月23（土）24（日）10:00～17:00  
平成30年度精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修  
／広島市南区地域福祉センター大会議室

その他

- ・ 2月25日（月）16:00～17:00  
「福山市障がい者就労支援強化事業に関する説明会」  
／福山すこやかセンター